

編集後記

冬ごもりの虫が地上にはい出る「啓蟄」の季節、ということで、人と虫の愛憎について特集した。虫は別に人が憎くて刺すわけではないし、愛しているから甘い蜜を与えてくれるわけでもない。「益虫」も「害虫」も人間様の勝手なカテゴリーで、人の都合によって益虫が害虫になったり、その逆の場合もある。わたしの友人である中村和恵さんの詩集『天気予報』に、「ごきぶりに悪意はないし、みみずにも善意もない」の一節がある。なるほど。人間はどうして、こうも勝手に感情移入をするのか。しかし、そこが人間らしさでもあるのだろう。

さて、本号にご寄稿くださった久保、庄司、八杉教授は3月末でみんぱくを定年退職される。あえて「退職記念エッセー」とうたわずに、さりげなく既存のコーナーに思いをつづっていた。このお三方、じつはみなさん月刊みんぱく編集長を経験されているのである。小誌の存続に多大な貢献をされたベテランが一度に三人も去るは寂しい。(山中由里子)

●表紙：絵画「蜂蜜つくり」
地域：タンザニア 標本番号 H0170760

次号の予告

特集 野次と喝采

※みんぱくウィークエンド・サロンの情報は、13ページに移りました。

みんぱくをもっと楽しみたい 人のために—会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます(特別展示は観覧料割引)。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893/平日9:00~17:00)

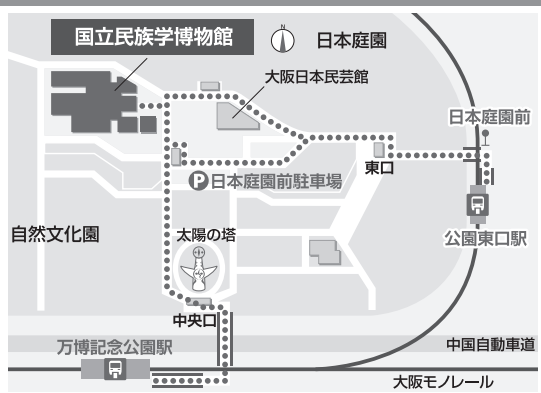
月刊みんぱく 2015年3月号

第39巻第3号通巻第450号 2015年3月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信
編集委員 山中由里子(編集長) 櫻永真佐夫 河合洋尚
庄司博史 菅瀬晶子 丹羽典生 丸川雄三
編集アドバイザー 山内直樹
デザイン 宮谷一 長岡綾子
制作・協力 一般財団法人千里文化財団
印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>